

## クロアチア・スロヴェニアの旅

八千代市 松尾 昌泰

### 1、直行チャーター便のツアー

クロアチアとスロヴェニアには、今年の春先に行く予定だったが、新型インフルエンザの世界的な広がり、特に国際空港や密室状態の航空機が問題視されていたので、キャンセルしていた。しかし、やっとこの9月に行くことができた。

この2つの国は、南北に隣り合った小国で、アドリア海に面し、その対岸は長靴型のイタリアである。スロヴェニアは、北のスイスやオーストリアのアルプスの反対（南）側にあり、イタリアやオーストリアと接している。その南のクロアチアは、東にハンガリーとボスニア・ヘルツェゴビナに接している。



観光のポイントは、オーストリアの南部にある「アルプスの瞳」といわれるスロヴェニアの「ブレッド湖」と欧州最大の「鍾乳洞ポストイナ」、そしてクロアチアの、多くの湖と多くの滝がある「プリトヴィツェ湖群国立公園」と「アドリア海の真珠」といわれるクロアチアの沿岸地方である。

この地への通常の航空機の直通便はないが、乗換えなしのチャーター直行便のツアーが目にしたので、直ちにこのツアーに決めた。このツアーでは、乗換えがないので片道約4時間（往復で約8時間）、そして最後の観光地から帰国の空港までの移動時間約8時間が短縮され、ゆったりとした自由時間の充分に取れたので、見たいところに時間をかけることが出来てよかった。

チャーター便ということで驚いたことは、一機分の約500人が全て日本人で、アナウンスも日本語だけ、海外に行っている感じではない。また、行き先は全て同じで、帰りも同じところから搭乗する。もちろん、全員が同じコースではなく、13コースに分かれていた。なんとなく「年寄りの修学旅行」のようだった。考えると当たり前のことだが・・・

### 2、スロヴェニア

スロヴェニアは、四国ほどの広さで人口は200万人程度の小さな国で、北のスイスやオーストリアのアルプスと南のクロアチアへ連なるユリアン・アルプスに囲まれている。

スロヴェニアは、1991年6月25日に独立した。独立に反対のユーゴスラヴィア軍部が妨害してきたが、10日間の交戦で10月にはユーゴスラヴィア軍は撤退したとのこと。

独立表明から1年足らずで、スロヴェニアは国際連合に加盟（1992年5月）、更に1年後（1993年5月）には欧州議会に入り、2007年にはユーロに参加している。

## 2 - 1、アルプスの瞳「ブレッド湖」(Bled)

ブレッド湖は、スロヴェニアを代表する観光地で、氷河によりできた、「アルプスの瞳」と称されている美しい湖で、そばには湖畔には130mの絶壁(岩)の上にブレッド城がそびえている。

ブレッド湖の中には小さな島があり、そこへは手漕ぎのボートで行く。98段の階段を上ると聖マリア教会が建っている。この教会には「鳴らすと願いが叶う」という鐘がり、観光客が列を作っている。観光客の女性は何回も紐を引っ張っていたが、かなり強い力で引っ張らないと鐘を鳴らすことはできないようだった。

ここで結婚式をあげる時は、新郎は新婦を担いで98段を昇ることになっているそうだ。日本人はそんな体力はないな！ 階段を数えたら99段だったが・・・



ブレッド湖に浮かぶコジマに聖マリア教会がそびえている

## 2 - 2、ポストイナ鍾乳洞

スロヴェニアには8500以上の鍾乳洞があるそうで、この中でポストイナ鍾乳洞はヨーロッパ最大、規模は27kmに及ぶ。(日本一の秋芳洞が10km強といわれているので、約3倍)

まず、洞窟の入口からトロッコ電車で2kmほどかなりのスピードで走り、1.7kmほどの見学コースを探索する。



10万年ほど前から作り上げられたポストイナ鍾乳洞

洞窟は、10万年ほど前から少しずつ近くの川の水を吸収し、石灰岩が削られていったもので、不思議な形や色をした鍾乳石が連続している。鍾乳石は場所により色や形が異なるが、1mm成長するのに10年～30年かかるとのこと、地球の中の神秘である。

出口までは、やはりトロッコ電車で2kmを疾走する。この2kmのトロッコ電車を今から130年（明治12年）以上前に作ったことも驚きだ。

### 3. 美しいアドリア海のクロアチア

クロアチアは、九州の1.5倍ほどの広さで人口は姪く440万人の小さな国である。美しいアドリア海と、その沿岸の古い街並みが魅力的だ。

1989年のベルリンの壁崩壊にともない、スロヴェニアと同じ日の1991年6月に独立を宣言した。宣言はしたものの、クロアチアにいるセルビア人（12%）が独立に反対を唱え、ユーゴスラヴィア連邦軍が進軍してきた為、多くの町や人が被害を受けた。

1992年1月15日、クロアチア共和国は正式に独立が認められたが、この時点でも3分の1はクロアチアの管理にはなく、戦闘は1995年まで続いた（更に大量の死者と難民を出した）。「たった14年前の出来事」だった。

#### 3-1. プリトヴィツェ湖群国立公園

切り立った渓谷に、16の湖と92カ所の滝が点在する自然公園で、エメラルドグリーンのプリトヴィツェ川が、渓谷を縫うように蛇行しながら流れ、標高では639mから標高150mまでを階段状に滝から滝に繋がり、コナラ川に流れ込んでいる。（ユネスコ世界遺産、1979年登録）

観光は半日強であったが、数日間でも滞在したいように綺麗で素敵だった。



数日滞在したくなる プリトヴィツェ湖群国立公園

渓谷を縫うように川が蛇行しているというが、流れている感じではなく、むしろ、湖が点在し、湖と湖を繋いでいるのが滝であった。



大きな滝の前で

### 3 - 2 . アドリア海の真珠「ドゥブロヴニク」

ドゥブロヴニクは、アドリア海沿岸の都市で、「アドリア海の真珠」といわれ、青い海とオレンジ色の屋根の旧市街であり、高い頑丈な城壁に囲まれている。(世界遺産登録 1979 年)

周囲の長さわずか 2km ほどの小さな街は、1667 年の大地震では「がれき化」しており、更に 1991 年のユーゴスラビア連邦軍による攻撃で 8 割が破壊されたと云う。



城壁の上から見たオレンジ色の屋根の旧市街

要塞は、最初 12~13 世紀に築かれ、何回も修復や再構築され、非常に堅固であったので、この小さなドゥブロヴニク共和国は 1808 年まで自治を守り通せたとのことだ。

この旧市街を囲む城壁の上を散策したが、アドリア海の紺碧と旧市街のコントラストが素晴らしく一見の価値がある。



外敵から守る堅固な城壁に囲まれた旧市街地



旧市街地の路地

#### 4．モスタル（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

クロアチアからボスニア・ヘルツェゴビナのモスタルに少し足を延ばした。ここも、1992年に旧ユーゴスラビアから独立し、ボスニア紛争を経て、1995年に、ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦とスルブスカ共和国の連合国家となっている。



二度と起こさない為に残された、生々しい戦火の跡

## 5 . データ

### 5 - 1 . スロヴェニアについて

国名：スロヴェニア共和国

面積：20,251 km<sup>2</sup>。

人口：約201万人。

首都：リュブリャナ

民族：スロヴェニア人 90%、その他イタリア人、ハンガリー人など。

言語：スロヴェニア語。(ほとんどは、英語、イタリア語、またはドイツ語ができる)

宗教：ローマカトリック教 95%、プロテスタント。

気候：スロヴェニアは、中央ヨーロッパ、アルプス、地中海の3つの気候地域に分かれる。

通貨：ユーロ

### 5 - 2 . クロアチアについて

国名：クロアチア共和国

面積：5万6,542 平方キロメートル(九州の約1.5倍)

人口：443.6万人(2007年：IMF)

首都：ザグレブ

民族：クロアチア人 89.6%、セルビア人 4.5%、その他ハンガリー人、スロヴェニア人、イタリア人など

言語：公用語はクロアチア語

宗教：ローマカトリック教 88%、セルビア正教等

民族：クロアチア人(89.6%)、セルビア人(4.5%)等(2001年)

通貨：クロアチア・クーナ

以上